

デジタル・ガーデン

SSD レンタル業務を本格始動 効率的なデジタルワークフローを提案 撮影現場の時間短縮やコストを削減

(株)デジタル・ガーデン (DGI) は、撮影現場等におけるデータマネジメントの強化に向け、HDD に代わる高速バックアップメディアとして「SSD」(Solid State Drive) の利用を促進し、今春から「SSD レンタル業務」を本格始動している。撮影素材の記録は 2 台の SSD を使用して、「MASTER」と「BACKUP」の 2 種類を作成。高速・堅牢を特徴とする SSD を使用することで、撮影現場ではデータコピーの時間を大幅に短縮するとともに、ポストプロダクションへのスムーズなデータ受け渡しが可能となる。同社では SSD レンタルとともに、LTO によるアーカイブ化も提案することで、効率的なデジタルワークフローを提案する。Digital Shooting Div. Chief Business Manager の白崎達彦氏は〈データ書き出しにかかる時間が大幅に短縮できることで、DIT などスタッフの拘束時間を減らし、人件費削減など、トータルコストを改善できると考えています〉としている。

MASTER 用をオレンジ／BACKUP 用を
ブルーで色分けしたペリカンケースに収
納された SSD



SSD でのバックアップ＝対 HDD 比で約 2.5 倍の高速化

Lead Technical Manager の二神真一氏は〈大切な撮影素材ですから、中途半端な対応はできません。制作会社の皆さんにとっても、これまでのワークフローを変更することには簡単に踏み込めない状況は理解できます。HDD と比較して SSD は、まだまだ認知されていない現状にあります。Digital Shooting Div. に DIT/DM (Data Manager) が所属し、しっかりとデータを管理しながらポストプロダクションへ繋いでいる DGI だからこそ出来る提案だと考えています。SSD レンタル業務の本格稼働を開始して約 4 ヶ月、使っていただいた皆さんからは、ほほりビートしていただいています〉という。

SSD は記憶装置として半導体素子メモリを用いており、HDD のように物理的なヘッド移動がな

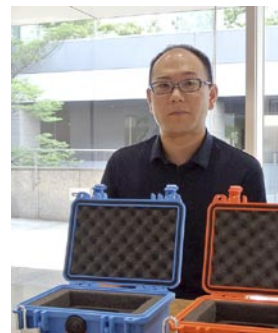
いため、データの読み込み・書き込みが速いのが最大の特徴となっている。

同社では、SSD と HDD の比較検証テストを実施。撮影現場におけるバックアップ時間（704GB）は、HDD が 210 分（55MB/s）要したのに対し、SSD では 110 分（106MB/s）だった。また、同社サーバーへのコピー時間（704GB）は、HDD が 210 分（55MB/s）要したのに対し、SSD では 60 分（200MB/s）だった。バックアップ+コピーの時間計では、HDD が 420 分であるのに対し SSD は 170 分と、約 2.5 倍の高速化が図れていることが判った。

白崎氏（写真→）は〈バックアップが大幅に高速化したことで、撮影現場における作業時間全体の時間も短縮でき、人件費の削減も可能だと考えています。長時間労働を抑制するための“働き方改革”が多く話題に上がる状況で、その取り組みにも貢献できます。SSD は高速であることだけではなく、電源要らず／軽くてコンパクト／壊れにくい／Mac での暗号化が可能といった特徴があります。4K/8K DPX 素材といった大容量データの運搬にも適しているだけでなく、より安全な移動が可能です〉という。



撮影現場における SSD へのバックアップ作業



効率的なワークフローを提案



SSD レンタルでは、2 台の SSD を使用して“MASTER”と“BACKUP”の 2 種類のバックアップを作成。SSD の運搬等に使用するのは、米軍の輸送・保管にも使用される堅牢かつ高密度のペリカンケースで、“MASTER”をオレンジ／“BACKUP”用をブルーで色分けしている。ペリカンケースには専用のナンバーキーを装着するとともに、データの暗号化も実施する。

SSD はデータの完全消去と専用アプリでの状態確認によるヘルスチェックを経て貸し出しを行い、万が一のトラブルに備えて復旧保険（復旧作業費の保障）にも加入しているという。

（移動）運用例として、①“MASTER”（オレンジ）の SSD（撮影素材+オフライン用 QT）は、DGI へ返却＝撮影素材を LTO 化してアーカイブすることも可能 ②“BACKUP”（ブルー）の SSD（撮影素材+オフライン用 QT）は、制作会社が持ち帰り、オフライン編集（オフライン EDL + オフライン QT）→グレーディング（グレーディング DPX）→オンライン／MA（完パケ QT）のプロジェクトファイ



ルを保存＝作業終了後に SSD 内部のデータについても MASTER とは別に LTO 化が可能——が挙げられる。なお、SSD レンタルは、ポストプロダクション作業を同社以外で行うケースでも可能（レンタル単体）となっている。

LTO バックアップの提案

さらに、同社では SSD レンタルとあわせ、撮影素材の LTO によるバックアップ／アーカイブサービスも提案している。白崎氏は〈長い期間通電しないと可動しなくなる危険性等がある HDD に比べ、長期保存に圧倒的な信頼性があり、コンパクトな LTO によるアーカイブでは、ベリファイ（比較検証）を行いながらクローンメディアを作成するだけでなく、メタデータも保管することで PC 上でのリスト確認も可能です〉。二神氏（写真→）は〈撮影現場におけるバックアップデータの作成からアーカイブまで、SSD＋LTO による効率的なデジタルワークフローを提案していきます〉としている。



* * *



Digital Shooting Division の機材室＝カメラは 2 式を運用する RED DRAGON

DGI の Digital Shooting Div. は 2015 年 10 月に稼働を開始。各種デジタルシネマカメラ／レンズを装備し、DIT/DM など技術者を擁することで、DGI では撮影から仕上げまで一貫した総合ポストプロダクション業務を展開しているほか、最近では撮影業務単体での受注も増加しているとう。

撮影機材は、ARRI「ALEXA SXT」「ALEXA MINI」「RED DRAGON」× 2 式を運用、レンズ群として、ARRI/ZEISS Master Prime、ARRI/ZEISS Master

Anamorphic、ARRI/ZEISS Master Anamorphic Flare set、ARRI/FUJINON Alura 18-80mm、45-250mm 等を有している。また、同 Div. では、2PB 容量のプロジェクト共有ストレージ「Project Server」（写真→）を運用しており、一貫したデジタルワークフローを確立している。

◇ Digital Shooting Div.

<http://www.dsd.dgi.co.jp> TEL03-5791-2545

◇(株)デジタル・ガーデン <http://www.dgi.co.jp/>

東京都渋谷区恵比寿 2-36-13 広尾 SK ビル TEL03-5791-2215

◇ DIGITAL GARDEN PLAZA

東京都渋谷区広尾 5-6-6 広尾プラザ 7F TEL03-5791-5885

